

ソロ・アンサンブルコンテスト実施規定

鹿児島県吹奏楽連盟

1 実施部門および参加人員について

- (1) 実施部門は次のとおりとする。
①小学生 ②中学生 ③高等学校 ④大学 ⑤職場・一般
- (2) 各団体からの出場数はソロ部門～2名以内、アンサンブル部門～1チームとする。
- (3) アンサンブル部門における編成は1チーム3名以上8名以内とする。
ただし、小学生の部については、3名以上10名以内とする。(1パート1人とし、10パート10人まで)

2 参加資格について

- (1) 出場資格者は、九州吹奏楽連盟鹿児島支部において加盟手続きを完了した団体に所属するものとする。さらに、アンサンブル部門については、次のことを条件とする。
 - ① 小学生の部 構成メンバーは同一の小学校に在籍している児童とする。
* 吹奏楽連盟に加盟している団体どうしで、合同での出場をお考えの場合には、お問い合わせください。
 - ② 中学生の部 構成メンバーは同一の中学校に在籍している生徒とする。
* 同一経営の学園内小学校児童の参加は認める
 - ③ 高等学校の部 構成メンバーは同一の高等学校に在籍している生徒とする。
* 同一経営の学園内中学校生徒の参加は認める。
 - ④ 大学の部 構成メンバーは同一の大学、および高等専門学校に在籍している学生とする。
 - ⑤ 職場・一般の部 「職場」の構成メンバーは同一経営の会社・工場・事業所・官庁などで経営者または組合などの許可を得て設立されている団体に所属し、その勤務先に常時勤務しているものとする。
「一般」の構成メンバーは同一所属団体内に限り自由とする。ただし、職業演奏家の参加は認めない。
- (2) 同一奏者がソロとアンサンブルの両部門に重複して出場することはできない。
- (3) 出場者の資格に疑義がある場合には、吹連事務局から当該団体に対して確認のための調査を行うこととする。万一、出場資格が不適正であった場合は、出場停止または入賞を取り消す等の措置をとる。やむをえず出場者を変更する場合は、必ず事前に事務局まで連絡をすること。
- (4) 参加料はソロ部門2,000円(伴奏者不要)、アンサンブル部門は1名につき2,000円とする。また、出場にあたっては鹿児島県吹奏楽連盟加盟章(バッジ)を必ず着用すること。

3 演奏について

- (1) 出場者(団体)は、任意の1曲を演奏して審査を受けるものとし、組曲も1曲とみなす。
- (2) ソロ部門は木管楽器・金管楽器・コントラバス・ハープ・打楽器とし、伴奏楽器は原則としてピアノのみとする。なお、リハーサル時間については、いずれも同一条件とする。
- (3) アンサンブル部門における編成は、木管楽器・金管楽器・打楽器・コントラバスによるものとする。ただし、コントラバスのみによる編成、及びリコーダーの使用は認めない。同一パートを2名以上の奏者で演奏することは認めない。また、独立した指揮者をおくことはできない。
- (4) アンサンブル部門でのピアノ、チェンバロ等の使用は認めない。
- (5) アンサンブル部門に参加するチームは、参加申し込み時に演奏形態を確認するため、曲名、作曲者、編曲者、編成、出版社が分かる部分の楽譜(スコア)をコピー(A4サイズ1枚)して必ず提出する。(別紙「必ずお読みください」を参照のこと。)
- (6) 著作権の存在する楽曲を編曲して演奏する場合は、事前に著作権者の許諾を受けること。未出版の場合も、著作権者からの許諾書を添えて提出すること。

- (7) 演奏時間はソロ部門、アンサンブル部門ともに5分以内とする。
- (8) 出演順については、ソロコンテスト・アンサンブルともに代表者会議で抽選を行う。
 ソロコンテストの出場順は、打楽器⇒木管(コントラバスを含む)⇒金管とし、さらに楽器ごととする。

4 審査および表彰について

- (1) 審査員は理事会の承認を得て理事長が委嘱する。
- (2) 審査員は、ソロ部門3名、アンサンブル部門5名とする。(現在交渉中)
- (3) 審査は、演奏技術、音楽表現の2項目で審査する。
 評価は下表のとおり、3ブロック9段階の得点に換算して行う。
なお、アンサンブル部門は審査員の中で最も低い評価を付けた審査員の点数をカットする。(下カット)

金			銀			銅		
A+	A	A-	B+	B	B-	C+	C	C-
9	8	7	6	5	4	3	2	1

←審査員に記入していただく

- ① アンサンブルの部 (72点満点・・・9点×2項目×4人分 下カット採用)
 3ブロック9段階の得点に換算して行う。演奏技術と音楽表現の2項目で審査を行う。
 審査結果は、金賞(56点以上)、銀賞(32点以上)、銅賞の3グループに分けて表彰する。
- ② ソロの部 (54点満点・・・9点×2項目×3人分 下カットなし)
 3ブロック9段階の得点に換算して評価する。
演奏技術と音楽表現の2項目で審査を行う。
 審査結果は、金賞(42点以上)、銀賞(24点以上)、銅賞の3グループに分けて表彰する。
- (4) 表彰は部門ごとに、金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。ただし規定により失格となった場合は表彰の対象としない。

5 九州アンサンブルコンテストへの推薦について

- (1) 九州アンサンブルコンテストへの鹿児島支部からの各部門推薦数は、次のとおりとする。
- ①小学生、大学、職場・一般の部
県大会の参加団体数により推薦数が変わるので、進行表送付時にお知らせする。
- ②中学生・高等学校の部
 中学生4団体(3.4.16.23)、高等学校は4団体(8.14.19.26)を推薦する。
- (2) 九州アンサンブルコンテストへ推薦されたチームが出場を辞退した場合でも、繰り上げ推薦は認めない。
 なお、辞退したチームは、支部長を通じて九州吹奏楽連盟理事長あてに辞退届を提出。
- (3) 推薦されたチームは、九州吹奏楽連盟事務局への申し込み締切日を厳守し、遅れた場合は出場を辞退したものとみなす。

6 その他

- (1) 音楽著作物使用料については、本連盟が全額負担する。
- (2) 出場者ならびに出場団体に録音CDを贈呈する。
- (3) ソロ部門においてはステージ上でチューニングを行う場合、チューニング開始から5分以内に終わること。
なお、ピアノのピッチは442Hz。
- (4) コンテスト会場となる姪良市文化会館(加音ホール)の大ホール・小ホールの使用はコンテスト開始1週間前(12月9日(土))から使用禁止とする。